

		課題発見	課題解決	友達に伝える	教師に伝える
A .. 十分に満足できる	評価規準	進んだ距離やできた回数を確認かめて自己の課題を適切に見付けようとしている。	補助具を活用することや、友達に手を引っ張ってもらったり補助してもらったりするなどして、自己の課題に適した練習の仕方を選んだり工夫したりしている。	友達のよい動きや動きのポイントを言葉や動作で具体的に伝えたり、いろいろな泳ぎ方やもぐり方、浮き方を分かりやすい表現で紹介したり、よい動きを積極的にまねしたりしている。	友達のよい動きや動きのポイントを具体的に書いている。
	具体例	5 m ばた足で進めたから、手をかいてみて 7 m を目指そう。	クロールの練習でビート板を使うけど、体重をかけないようにしてビート板に頼らないようにしよう。	〇〇さんは、け伸びの時に、頭を入れて水中を見ているから、まっすぐきれいです。	息継ぎの後は、プールの床を見て、ひざとつま先も伸ばして、体がまっすぐになるようにする。
B .. おおむね満足できる	評価規準	進んだ距離やできた回数を確認かめて自己の課題を見付けようとしている。	補助具を活用することや、友達に手を引っ張ってもらったり補助してもらったりするなどして、自己の課題に適した練習の仕方を選んでいる。	友達のよい動きや動きのポイントを言葉や動作で伝えたり、いろいろな泳ぎ方やもぐり方、浮き方を紹介したり、よい動きをまねしたりしている。	友達のよい動きや動きのポイントを書いている。
	具体例	5 m ばた足で進めたから、次は 7 m を目指そう。	クロールの練習をしたいから、ビート板を使ってみよう。	〇〇さんはけ伸びがまっすぐきれいです。	息継ぎの後はけ伸びのしせいを意識する。
C .. に対する手立て		児童の実際の映像を見せて、手本動画と比較させることで、どのような課題があるかに気づけるよう支援する。	同じ課題を持っていう児童がどのように取り組んでいるかや、手本動画や掲示物を観察させて支援する。	バディや友達の動きを観察させ、気付いたことやまねしたいところを引き出したり、距離や時間、回数などの具体的な自己の目標を決めて伝えさえたりすることができるよう支援する。	バディや友達の動きを観察させ、気付いたことやまねしたいところを引き出したり、距離や時間、回数などの具体的な自己の目標を振り返りに書くように支援する。